

明倫歯科保健技工学雑誌投稿規定

1. 目的

本誌は、口腔医療技術・歯科技工、口腔保健、コミュニケーションなど、本学における研究、教育に関連する論文を掲載する。

2. 投稿資格

本学の教職員、在学生を含む校友会会員、明倫学会会員に限る。ただし、編集委員会が認める者はこの限りではない。

3. 掲載する論文の種類と査読

本誌に発表する論文は総説、原著、臨床、調査、紹介、報告、明倫学会抄録および関連原稿、その他で未発表のものに限る。

- 1) 総説は編集委員会の依頼によるもので、原則として400字詰20枚以内とし、掲載料は無料とする。別冊は30部まで無料とする。
- 2) 原著は印刷頁4頁(図表3コ以内)までを無料とし、超過した分および別刷代については、実費を著者負担とする。
- 3) 臨床、資料および紹介は、印刷頁2頁(図表3コ以内)までを無料とし、超過した分および別刷代については、実費を著者負担とする。
- 4) 掲載は原則として受付順とする。原著および臨床論文の採否は、編集委員会が依頼した査読者による査読の後、編集委員会で決定する。なお、編集委員会は査読の結果を参考に、必要に応じて著者に修正を求めることがある。

4. 倫理規定

論文は、人を対象とする場合には、ヘルシンキ宣言(1964年採択, 1983年改訂)に適合した指針に則ったものでなければならない。また、動物実験の場合には、動物実験に関する倫理指針(文部省学術国際局長通知昭和62年: 大学等における動物実験について、等)に基づいて行われたものでなければならない。論文には、本投稿規程の倫理規定に基づいて研究を行ったことを明記すること。

5. 原稿の書式

表題、著者、所属を和文と英文で書く。複数の著者で所属が異なる場合は、著者氏名の右上に番号(1, 2, 3...)を付し、所属名の左に対応する番号を付けて示す。

20字以内の略題名(ランニングタイトル)を記入すること。

5語以内のキーワード(日本語ならびに英語)を記入すること。

原著および臨床論文においては緒言、材料および方法、結果、考察、結論および文献の順に記載し、400字~600字にまとめた和文抄録ならびに250語程度の英文抄録をつけること。

外人名は原名綴りのままで書き、その他の外国名は原字または片かなで書くこと。わかりやすいブロック体(またはタイプ)とすること。

和文原稿は400字詰原稿用紙にわかりやすい文章で横書き、楷書で書く。学術用語に関しては、文部科学省: 学術用語集歯学編(増訂版平成4年11月)および日本歯科医学会歯科用語補遺集を準用すること。

特別な術語以外は、当用漢字の範囲内にとどめ、区切句読を明らかにし、改行の際は1字さげて書き始めること。

ワードプロセッサ使用の場合はA4判用紙に12ポイント24字×30行で、左右30mm程度の余白をとり、横書きに印字すること。

英文原稿は、A4判用紙に12ポイント(11~13ポイントでも可)を用い、ダブルスペースで、左右25mm程度の余白をとり、印字すること。

5語以内のキーワード(英語)を記入する。なお、原著および臨床論文においては緒言、材料および方法、結果、考察、結論、文献の順に記載し、250語程度の英文抄録ならびにその和訳文をつけること。

表・図(写真含む)は、それぞれ用紙サイズをそろえてB5判またはA4判用紙を用いて1枚に1点ずつ明瞭に作成し、縮小率を明記すること。図・表挿入箇所を本文欄外に朱書すること。図・表の最大印刷寸法は別に定める。カラー写真印刷費は著者負担とする。

引用文献は引用順に番号を付し本文の終わりにまとめ、次の記載法による。共著の場合は筆頭者を含め3名まで記入し、4人目以降の共著者は、「ほか」または「et al.」と省略することもできる。

雑誌の場合

著者名: 表題. 雑誌名(正式な略誌名, 例えば医中誌Web [醫學中央雑誌] およびPubMed [WEDLINE] による誌名を使用)) (一字余白) 巻(ボールド): 引用頁, 発刊年(西暦)

- 1) 藤田恒太郎: 歯の計測基準について. 人類誌 60: 15-27, 1949
- 2) Schultz-Haudt, SD and Scherp, HW: The production of chondrosulfatase by

microorganisms isolated from human gingival crevices. J Dent Res 35:299-307, 1956

単行本の場合

著者名：書名、版、引用頁、発行所、発行地、発行年（西暦）

- 3) 秋吉正豊：歯周組織の構造と病理. 274-277頁, 医歯薬出版, 東京, 1968
- 4) De Robertis, EDP, Nowinski, WW and Saez, FA: Cell Biology. 4th ed., pp166-185, WB Saunders Co., Philadelphia and London, 1965
- 5) 中尾 真：膜の機能. 小田琢二, 佐藤 了, 中尾 真 (編)：生体膜の生化学. 64-65頁, 朝倉書店, 東京, 1969
- 6) Bowen, WH: Dental caries in monkeys. In Staple, PH(ed): Advances in Oral Biology. Vol. 3, pp185-216, Academic Press, New York and London, 1968

英文原稿における引用文献は和文原稿に準じるが、和文引用文献は最後に (in Japanese) を付記すること。度量衡の単位は, m, cm, mm, μ m, ℓ , ml, kg, g, mg, μ g等を用いること。

6. 投稿票とチェックリスト

論文投稿時に所定の書式の投稿票およびチェックリストを添付する。特に筆頭著者と連絡担当者が異なる場合は、連絡先を忘れず記入する。また、別刷の希望、著者負担分請求方法についても記入すること。投稿原稿は3部とする。(2部はコピーを認めるが、ただし、写真はなるべくオリジナルプリントとする。)

7. 論文の印刷に際して

論文受理の連絡の後、すみやかに原稿のデータ(本文および図表)を原則としてCD-Rで提出する。図表は原則として白黒とし、データとして添付できないときには写真や印刷物として提出すること。メディアには、著者名、ファイル名(使用するOSお

よびアプリケーション名とそのバージョンを付記)を記入したラベルを貼付すること。

8. 著者校正

原則として2校までとする。字句の著しい変更、追加、削除は認めない。原稿は、校正刷りにおいて内容の改正を要しないように充分推敲すること。

9. 著作権

本誌掲載の著作物の編集著作権は明倫短期大学紀要委員会に帰属する。

- 1) 複写・複製・転載等については、編集委員会で審議する。
- 2) 著者は論文の内容について責任を負う。また、著作権を編集委員会に委任し、論文投稿時に承諾書を提出すること。

10. 発行

本誌は年1回発行する。原稿受付締切日は9月30日、発行日は翌年の3月1日とする。

11. 原稿の送り先

〒950-2086 新潟市西区真砂3-16-10
明倫短期大学内紀要委員会

12. 規程の改定

この規程の改定は、紀要委員会、教授会の議を経て、理事会の承認を得た上で行う。

(1997年10月15日制定)

(1998年12月19日改訂)

(2000年9月9日改訂)

(2002年1月16日改訂)

(2004年1月15日改訂)

(2005年2月1日改訂)

(2008年2月20日改訂)

(2008年12月11日改訂)